

計画第3期突入！ CS 本格実施へ

小中一貫・CS 通信

NO.32 R3.11.30 幕別町教育委員会 学校教育推進員

新規感染者なしの日が十勝管内で 40 日以上続くようになりました。この状況を受け、これまで見送ってきた運営協議会での熟議も少しずつ実施されるようになるなど、コミュニティ・スクールの取組速度が上がってきています。感染拡大の第6波を警戒しつつ基本的な感染対策を続けながら、今後の教育活動を着実に進めましょう。

今月は、札内東学園の運営協議会の様子を中心にお知らせします。

札内東学園運営協議会、地域協働活動総会 開催 10/28

10月28日(木)に第2回札内東学園学校運営協議会と地域協働活動総会が開かれました。1回目の運営協議会はコロナ禍のため書面開催となり、地域協働活動の総会も延び延びとなっていたため、実際にメンバーが顔を合わせるのは今回が初めてでした。

初めに、山田知史学園長が、札内東学園の小中一貫教育やコミュニティ・スクールについて簡単に説明、学園組織と地域を結ぶノウハウをまだ十分持ち合わせていないので一緒に知恵を出し合おうと挨拶しました。その後、参加者全員が自己紹介しました。いずれも東学園三校に関わりがあり、思い入れの強さを感じさせるコメントが続きました。なお、さつない学園運営協議会委員の方1名も傍聴で参加していました。



続いて、秦副学園長が地域協働活動についての説明を行い、教職員、児童生徒、地域の方々それぞれにメリットのある取組だと強調しました。その後、協働活動協力員のグループ協議と運営協議会の会合を別室で並行して行い、それぞれ学園の様子や協力できることを交流しました。最後に、全体会で話し合ったことを報告し、会合を終えました。



コロナ禍のため一堂に会することが難しく、延び延びになっていた会合を今回開催できたことは大きな成果です。これから協働本部の体制を少しずつ拡充・整備していく中で、他町の先進校と同様な取組に近づいていくものと思われます。

札内東学園の取組に注目です。

定例経営会議 11/1 学園運営協議会 11/11 糠内学園

11月1日(月)、定例の経営会議が行われ、この間の進捗状況を確認、直近の運営協議会について打ち合わせるとともに、次年度のグランドデザインについても、職員によるブラッシュアップの手順を検討・確認しました。

裏に続きます

変える力部会は、ICT活用授業実践交流会（教育局出前講座活用）を12月14日か16日に実施することとし内容を具体的に検討しているところです。つながる力部会は、授業参観交流を、日時と参加者を配置した予定表に基づき実施、旅費についても計画に織り込むなど、しっかりと取り組んでいます。Can-Doリストについては、糠内小・明倫小統一の計画が完成し、これに糠内中の計画を合わせて学園としての計画として完成させる予定です。

11日(木)には、学園運営協議会が開催されました。これまでの取組や学園評価について説明され、意見交流を行いました。委員からは、糠内学園の子ども達について「自分の言葉でしっかり発表できる。」「ミスをみんなでフォローする習慣が身についている。」などのメリットのほかに、「少人数でのコミュニケーションの難しさや限界」など少人数のデメリットを指摘する意見も出され、これからもみんなで考えていくことを確認し合いました。

今月は、児童会・生徒会交流 11/16 まくべつ学園



後期の児童会・生徒会の新役員が決まり、第2回交流会が幕別中学校にて行われました。それぞれの後期の活動内容を紹介し合い、中学校生徒会から「クリスマス企画」という小学校とのコラボ企画が提案されました。小学校児童会からは「小学校のことも考えてくれて、一緒に楽しみたいという気持ちになった」との感想が聞かれました。

【児童の感想】「中学生は自分の学校だけではなく、小学校のことも考えてくれて楽しいイベントを企画していたので、全員のことを思ってくれていたのやさしいなと思いました。」「緊張していたけど、中学生の皆さんが優しく安心しました。中学生の生徒会の皆さんのいい考えが知れて良かったです。」「中学生の活動内容がとても分かりやすく、すごく活動の勉強になった。」

【生徒の感想】「自分が知らなかった小学校での活動（特にスマイル活動）を知ることができてよかった。」「これからも小中の交流を計画しているので、この機会がつくれてうれしかったです。」「活動を紹介し合い、互いによいところなどを見つけることができた。交流できる機会は貴重なのでこういう機会を大切にしたいと思った。」



キャリア教育 食育 今月の取組 ちゅうるい学園忠類中学校

10月29日(金)、本校2年生が職場体験学習を行いました。今年度は、1事業所に一人ずつ合計15ヶ所にお世話になりました。生徒は、はじめは緊張した様子でしたが、自分で考えて行動することができるようになりました。それを「ほめて」もらえて嬉しかったようです。この職場体験を通して、将来について考えるよい機会になったようです。地域の皆様、ご協力ありがとうございました。



11月2日(火)には、栄養教諭の中島谷璃乃先生が来校されました。今後行う、ちゅうるい学園「食育」授業の構想を練るため、中学校の家庭科授業を熱心に参観し、自分の授業をイメージしていました。中島谷先生の中学校での授業が楽しみです。